

国語科 学習指導案

貝塚市立中央小学校

1. 日時 2023年6月17日(火) 第5時限(13時20分～14時05分)

2. 場所 第6学年2組教室

3. 学年・組 第6学年2組(32名)

4. 単元(題材)名

【筆者の主張や意図をとらえ、自分の悩みをお悩み解決フリップで解決しよう】

(「笑うから楽しい」 中村 真、「時計の時間と心の時間」 一川 誠、補助教材 ブックリスト参照)

5. 単元(題材)の目標

・原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。(知(2)ア)

・事実と感想、意見などとの関係を、叙述をもとに押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。
(思 C(1)ア)

・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすることができる。(思 C(1)ウ)

・文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。(知(1)カ)

・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。(思 C(1)オ)

【言語活動】

筆者の主張や事例をもとに、自分の悩みを解決する方法についてお悩みフリップにまとめる。

6. 教材観

本単元で、扱う二つの教材文は、どちらも初めと終わりに筆者の主張が書かれている双括型の文章である。そして、主張を支えるための事例に着目することで、それらの事例がどれも主張を根拠立てるためのものであることが分かる教材である。

「笑うから楽しい」では、「笑う」「楽しい」と明るい話題が選択されていて、思春期にさしかかり、多くの問題や疑問を感じながら生活している6年生を応援し、前向きに生きるための知識や態度について教えている内容である。また、「時計の時間と心の時間」でも6年生として、毎日慌ただしさを感じたり、その中で、不安や不満を感じたりする児童も多い中、本教材では、それらの不安をやわらげるために時間との上手な付き合い方について考えさせる教材である。「帰り道」の学習をした際に、「気まずい時間は長く感じるし、楽しい時間は一瞬だ。」といった児童からの声を聞いた。本単元は6年生が共感でき、考えやすい内容だといえる。

本単元では、関連図書として児童が選んで読む資料(10 ブックリスト参照)を活用する。これらの資料は、児童にとって身近な題材であり、自分の悩みを解決する手立てとなる図書である。図書の選定にあたっては、児童が日常生活において困りうる様々な悩みごとに分類されている図書を選定した。

7. 児童観

本学級の児童は、低学年の時から、校内で一貫したワークシートを活用し、「文章構成をつかむ」「筆者の主張を読み取る」「要旨をまとめる」ことに取り組んでいる。そのため、「初め・中・終わり」のまとまりに気づいたり、段落を要約したりすることができる。また、4年生の頃からは並行読書材を用いて要旨をまとめる学習をしてきた。

これまでの学習でも、自分のつくった成果物を用いながら友だちと意見交流を行ってきた。交流中は元気で明るく、たくさん話そうとする児童が多いが、相手の考えを聞いたうえで自分の考えを広げたり、深めたりする対話的な活動を苦手としている児童も多い。4月には、物語文教材「帰り道」を学習した際に、並行読書材として「なみだの穴」を用い、登場人物の視点に着目したり、様々な種類の「涙」から心情を読み取ったりしながら意見交流をした。しかし、自分の考えを伝えるだけに終わり、対話によって考えを深め、相手の意見に質問や助言を行うことが難しい児童がいる。

8. 指導観

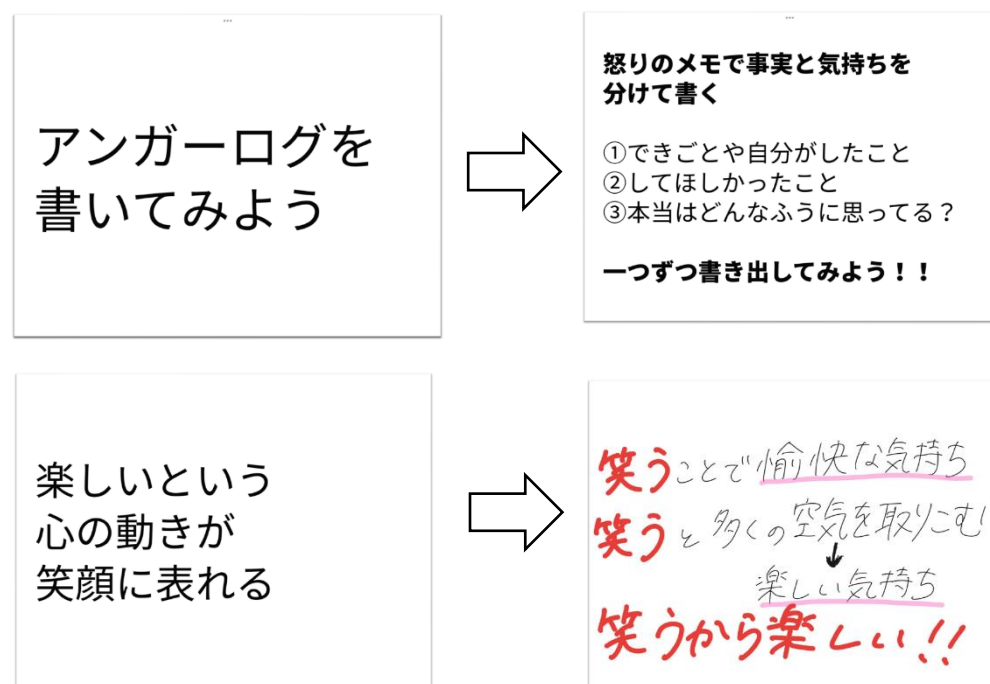
本教材の「笑うから楽しい」では、主張とそれの根拠になる事例などの構造の把握を行い、また、それらの事例の有無による効果や必要性について考察できる。その後、「時計の時間と心の時間」も同様に、どちらの教材文も、初めと終わりに筆者の主張がある双活型の文章であることに気づかせる。精査・解釈においては、フリップ作成に向けて、必要な情報を収集するために、主張と事例の関係に着目し、複数の事例の効果や順序性、事前教材の「笑うから楽しい」と比較し、事例の違いについても考えさせる。また、「笑うから楽しい」と「時計の時間と心の時間」の要旨とその事例が分かるフリップを作成する。取り組んだことのないフリップづくりを一度体験させることで、言語活動が円滑に進むようにする。

ペア交流を行う際に、児童に友だちの悩みを解決するために、よりよい資料を提示・提案すること、また、自分の悩みと資料が関係しているか、資料やフリップの不十分などところがあるかなどについて助言することを話し合いのポイントとする。そして、そのポイントを踏まえた望ましい受け答えを教師がモデルとなった動画を示す。そして、考えが深まる話し合いを体験することで、他教科においても友だちと考えを深め合える力を身に付けることを目的とする。

9. 言語活動とその特徴

単元を貫く言語活動として【筆者の主張や意図をとらえ、自分の悩みをお悩み解決フリップで解決しよう】を設定した。この言語活動では、「C 読むこと」(1)ア(構造と内容の把握)、ウ(精査・解釈)を指導するため、言語活動として2枚のフリップをつくる。1枚目には要旨を、2枚目には、自分の悩みを解決する目的に応じて本や資料から事例を見つける。自分の悩みの解決策を2枚のフリップにまとめることをゴールとする。フリップ作成までの話し合い活動を通して、自分の考えが友だちの考えによってどのように広がったり、深まったりしたか振り返らせ、友だちと考えを共有することの意義を感じさせる。

お悩み解決フリップのイメージ



10. ブックリスト

	書名	作者	出版社		書名	作者	出版社
1	気もちの伝え方	名越 康文	日本図書センター	22	心が元気になる本③ 学校に行くのがつらいとき	大河原 美似	あかね書房
2	怒りイライラ	名越 康文	日本図書センター	23	ネット・SNSのなやみ	高橋 暁子 北川 雄一	岩崎書店
3	友だちとのつきあい方	相川 充	金の星社	24	いじめや仲間はずれから身をまもる	ほろいわ なな	ポプラ社
4	13歳のキミへ	高濱 正伸	実務教育出版	25	どうしよう? SNSのトラブル	尾木 直樹	ポプラ社

5	友だち、勉強、家ぞくのなやみ あけはし先生にきいてみよう	明橋 大二	1 万年堂出版	26	プチストレスをためないで ① 友だちとのことで悩んだとき	保坂 隆	汐文社
6	友だちづきあいに悩まない ソーシャルスキル	相川 充	合同出版	27	プチストレスをためないで ② 勉強のことで悩んだとき	保坂 隆	汐文社
7	目上の人とうまく話す・聞く 敬語	相川 充	合同出版	28	プチストレスをためないで ② 家族のことで悩んだとき	保坂 隆	汐文社
8	イヤな気持ちにならずに話す・聞く アサーション	相川 充	合同出版	29	とつぜんつらいことがおきたら	小林 朋子	岩崎書店
9	「学校」ってなんだ?	奈良女子大学教授	Gakken	30	不安でおちつかないとき	小林 朋子	岩崎書店
10	ウソがはびこるネット社会を生き残り!	佐藤 和紀	フレーベル館	31	いつもとちがうことがおきたら	小林 朋子	岩崎書店
11	新 心が元気になる本 友だちにモヤっとするとき	伊藤 美奈子	あかね書房	32	友だちづきあいておもしろい	小林 朋子	岩崎書店
12	新 心が元気になる本 スマホが気になって落ち着かない!	伊藤 美奈子	あかね書房	33	「女らしさ」「男らしさ」①	治部 れんげ	汐文社
13	新 心が元気になる本 自分にイライラ、どうしよう!	伊藤 美奈子	あかね書房	34	「女らしさ」「男らしさ」②	治部 れんげ	汐文社
14	新 心が元気になる本 家族にムカムカ、どうして?	伊藤 美奈子	あかね書房	35	子どもの哲学	河野 哲也	毎日新聞出版
15	こころのふしぎ なぜ? どうして?	村山 哲哉	高橋書店	36	ノーベル賞受賞者にきく 子どものなぜ? なに?	ベッティーナ・シュ ティーケル	主婦の友社
16	学校では教えてくれない大切なこ と 友だち関係～自分と仲良く～	藤 美沖	旺文社	37	みんなのなやみ	重松 清	倫理社
17	学校では教えてくれない大切なこ と 発表がうまくなる	藤 美沖	旺文社	38	夢ってなんだろう	村瀬 学	福音館書店
18	学校では教えてくれない大切なこ と 勉強が好きになる	藤 美沖	旺文社	39	こども哲学 よいこととわるいことって、なに?	オスカー・ブルニフ イエ	朝日出版社
19	学校では教えてくれない大切なこ と 友達関係～考え方のちがいを～	藤 美沖	旺文社	40	こども哲学 きもちって、なに?	オスカー・ブルニフ イエ	朝日出版社
20	心が元気になる本① イライラ、クヨクヨどうすればいい の?	大河原 美似	あかね書房	41	こども哲学 自分って、なに?	オスカー・ブルニフ イエ	朝日出版社
21	心が元気になる本② 自分はダメだと思うとき	大河原 美似	あかね書房	42	こども哲学 いっしょに生きるって、なに?	オスカー・ブルニフ イエ	朝日出版社

11. 単元(題材)の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・原因と結果などの情報と情報との関係について理解している。 ・文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。	・事実と感想、意見などとの関係を、叙述をもとに押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。 ・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりしている。 ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。	・並行読書教材を自ら進んで読もうとしている。 ・お悩み解決フリップを作成して自分の悩みを解決しようとしている。

12. 単元の指導と評価の計画(全9時間)

次	時	学習内容		主な評価規準【観点】
第一次	第1時	㊦単元の学習の見通しを持つ 自分の悩みを解決できる主張や事例、資料をもとに、自分の意見にまとめる。その中で友だちと意見交換しながらフリップをつくることの見通しを持つ。	並行読書 自分の悩みを解決するために役立つ資料を探す	【主体的な態度】 並行読書材を自ら進んで読もうとしている。
第二次	第2時	㊦「笑うから楽しい」の構成を考える。 フリップづくりに必要な情報を収集するために、文章構成をつかむ。主張と事例の関係を理解する。		【知識技能】 ・原因と結果などの情報と情報との関係について理解している。 【思判表】 ・事実と感想、意見などとの関係を、叙述をもとに押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。
	第3時	㊦「笑うから楽しい」のフリップづくりをしよう。 前時で学習した文章構成を基に、フリップをつくる。 ・1枚目には要旨 ・2枚目にはそれが分かる詳しい事例		・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりしている。
	第4時	㊦「時計の時間と心の時間」の要旨を把握し、1枚目のフリップにまとめる。		【知識技能】 ・原因と結果などの情報と情報との関係について理解している。
	第5時	㊦「時計の時間と心の時間」で自分の時間の使い方に役立つと思ったところを選び、2枚目のフリップにまとめる。		・文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。 【思判表】 ・事実と感想、意見などとの関係を、叙述をもとに押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。 ・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりしている。
第三次	第6時(本時)	㊦悩み解決に繋がる情報を見つけ、フリップにまとめるために交流しよう。 ・悩み解決に繋がる情報(事例)をフリップまとめるために友達と話し合う。 ・友だちと話し合った情報をメモする。		【知識技能】 ・原因と結果などの情報と情報との関係について理解している。 【思判表】 ・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりしている。 【主体的な態度】 友達と話し、悩みに繋がる情報を見つけようとしている。

第7時	㊦ 自分の悩みを解決するための情報を見つけ、お悩み解決フリップに書きまとめよう。 ・前時に話したことを生かしてお悩み解決フリップをつくる。 ・友だちと話し合ったことを活かして、自分なりにまとめる。	【知識技能】 ・原因と結果などの情報と情報との関係について理解している。 【思判表】 ・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりしている。 【主体的な態度】 お悩み解決フリップを作成して自分の悩みを解決しようとしている。
-----	--	---

13. 本時の展開(第6時)

(1) 本時の目標

悩み解決に繋がる情報を見つけ、フリップにまとめるために交流しよう。(Cウ)

(2) 評価の視点

十分満足できる状況(A)	おおむね満足できる状況(B)	努力を要する子どもへの支援(C)
「おおむね満足できる状況(B)」に加え、友だちの悩みに合った必要な情報を伝えている。	悩みに合った事例かどうかを判断し、自分に必要な情報を決めている。	友だちと交流をすることで、より納得のいく資料の選び方に気づくことができるようにする。

(4) 本時(第6時/第7時)の学習過程

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点	評価規準(評価方法)
導入 10分	1, めあての確認		
	悩み解決に繋がる情報を見つけ、フリップにまとめるために交流しよう。 2, 動画で交流の仕方を確認する。 ○話し合いで大切にすること ①資料に書かれている言葉を使って話をする。 ②悩みの解決方法について話す。 ③メモをする。	・完成したフリップ例を提示し、見通しを持たせる。 ・動画を止めながら、大切な部分は確認する。	

展開 30分	4, フリップ作成に向けて適切な情報を選ぶために、話し合う相手を選び、意見交流する。 カテゴリ別に座っているので、同じカテゴリの人同士で話をする。 児童の話し合いの予想例 「悩みに対する事例はこれだと思ったんだけど、合っているかな。」 「自分の悩みに合った事例が見当たらないんだけど、どうしたらいいのかな。」 「その悩みなら、自分の読んだ本にこのように書いてあったから参考にして」 「その資料もいいけど、この本の内容の方もあなたの悩みに合っていると思うよ。」		【思判表】 より納得のいく根拠を選ぶために、自分の体験や、読んだ図書の事例をもとに自分に必要な情報を決めている。さらに、友だちの悩みを解決するために必要な情報を伝えている。 【主体的な態度】 友達と話し、悩みに繋がる情報を見つけようとしている。
まとめ 5分	5, 本時の学習のふりかえりを行う。 ・ふりかえりを書く。(タブレット) ・ふりかえりの交流をする。	ふりかえりには、自分の悩みを解決できる事例を見つけることができたか。また、話し合いを通して友だちの意見のどのような内容が参考になったかを書くよう伝える。	